

# 自然と文化科 活動記録 「福知山城と鬼の里大江町へ」

日時	2025年3月7日(金) 8:00~18:45	担当者
場所	大阪梅田~福知山城~御霊神社~大江山鬼瓦公園(昼食)~元伊勢外宮豊受大神社~元伊勢内宮皇大神社~日本の鬼の交流博物館~大阪梅田	文: 中澤重文 写真: 中澤重文
備考	参加者数: 1班 17名 2班 19名 3班 18名 4班 13名 計67名 天気: 曇り	

## ◎福知山城

明智光秀は天正 7 (1579) 年に丹波を平定し福知山に城と城下町を築いた。この城の特徴は石垣に墓石や石仏などの転用石が多いこと。天守閣は市民の「瓦一枚運動」で昭和61年に再建され、現在は資料館になっており、将棋の竜王戦の会場にもなった。



## ◎御霊神社

明智光秀を祀る。境内横に昭和28年の台風で水没した市街地の水位を記した看板がある。

## ◎元伊勢外宮豊受大神社

豊受姫命は雄略天皇の時に丹波国から移って伊勢神宮外宮に祀られという伝承から「元伊勢外宮」と呼ばれている。龍登の桧と龍燈の杉が御神木。



## ◎元伊勢内宮皇大神

天照大神が伊勢神宮の地に鎮座される前に祀られていたという伝承から「元伊勢内宮」と呼ばれている。杉の古木が立ち並び



表参道には石段が続く。黒木の鳥居のある本殿の参拝後、奥にある日室ヶ岳遙拝所、更に奥にある天岩戸神社まで足を延ばしたため、予定の時間をオーバーしてしまった。

## ◎日本の鬼の交流博物館

入口には高さ5m、重さ1の巨大鬼瓦がお出迎え。日本と世界の鬼文化に関する伝統芸能や鬼面・仮面等の資料を多数展示。鬼瓦は飛鳥時代から現代まで実物や複製、写真が壁一面に並んでいた。「鬼とはいったい何者か」に迫る展示で、学芸員の方に説明いただいたが、分かったようで分からないのが鬼というのが実感。

